

第6回宇宙開発委員会（定例会議）

議 事 次 第

1. 日 時 平成6年4月20日（水）
 14:00～14:10
2. 場 所 宇宙開発委員会会議室
3. 議 題 (1) 前回議事要旨の確認
 (2) H-IIロケット試験機2号機による技術試験衛星VI型及びM-3SIIロケット8号機によるEXPRESSの打上げに係る安全の確保に関する調査審議について
4. 資 料 委6-1 第5回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨（案）
 委6-2 H-IIロケット試験機2号機による技術試験衛星VI型及びM-3SIIロケット8号機によるEXPRESSの打上げに係る安全の確保に関する調査審議について（案）

第5回宇宙開発委員会（定例会議）
議事要旨（案）

1. 日時 平成6年4月13日(水)
14:00～14:10
2. 場所 宇宙開発委員会会議室
3. 議題 (1) 宇宙開発委員会委員長代理の指名について
(2) 前回議事要旨の確認について
4. 資料 委5-1 第4回宇宙開発委員会(定例会議)議事要旨
(案)
5. 出席者
宇宙開発委員会委員長代理
宇宙開発委員会委員
" "
" "

事務局

科学技術庁研究開発局長

科学技術庁長官官房審議官

科学技術庁研究開発局宇宙企画課長

弘恭一他
敏正東
井林田
石宮坂

6. 議事
- (1) 宇宙開発委員会委員長代理の指名について
江田委員長から野村委員が委員長代理に指名された旨、事務局より報告があった。
- (2) 前回議事要旨の確認について
第4回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨（資料委5－1）が確認された。

H-IIロケット試験機2号機による技術試験衛星VI型及びM-3SIIロケット8号機によるEXPRESSの打上げに係る安全の確保に関する調査審議について（案）

平成6年4月20日
宇宙開発委員会決定

1. 調査審議の趣旨

(1) 平成6年度夏期には、H-IIロケット試験機2号機による技術試験衛星VI型及びM-3SIIロケット8号機によるEXPRESSの打上げが予定されており、これらの打上げに係る安全を確保する必要がある。

(2) このため、H-IIロケット試験機2号機については、平成5年10月に策定した「H-IIロケットによる人工衛星等の打上げに係る安全評価のための基本指針」に基づき、所要の調査審議を行うものとする。

また、M-3SIIロケット8号機については、上記基本指針の適用について検討し、必要があれば内容の追加等を行い、これに基づいて打上げに係る安全確保について調査審議を行うものとする。なお、上記基本指針の内容の追加等を行う場合は、来年度から計画されているM-Vロケット等の打上げへの適用も考慮するものとする。

2. 調査審議事項

(1) M-3SIIロケット等による人工衛星等の打上げに係る安全評価のための基本指針の検討

(2) H-IIロケット試験機2号機及びM-3SIIロケット8号機の打上げに係る以下の安全対策についての(1)に基づく妥当性

- ① 地上安全
- ② 飛行安全
- ③ 安全管理体制

3. 調査審議は、安全評価部会において行うこととし、平成6年6月上旬までに終えることを目途とする。

(参考)

宇宙開発委員会安全評価部会構成員

(部会長)

吉田 忠雄 法政大学工学部教授

(部会長代理)

長洲 秀夫 日本科学技術情報センター監事、富士重工業顧問

井口 雅一 東京大学工学部教授

岩崎 民子 (財)放射線影響協会研究参与

河村 光隆 通商産業省工業技術院物質工学工業技術研究所
極限反応部部長

栗林 忠男 慶応義塾大学常任理事、教授

小林 繁夫 東京理科大学工学部教授

近藤 恭平 東京大学工学部教授

坂田 八昭 (社)日本遊技関連事業協会顧問

塩見 弘 中央大学理工学部教授

下平 勝幸(*) 宇宙開発事業団理事

手代木 扶 郵政省通信総合研究所電磁波技術部長

長谷川和俊 消防庁消防研究所第二研究部長

雛田 元紀(**) 文部省宇宙科学研究所教授

谷島 一嘉 日本大学医学部教授

山中 龍夫 横浜国立大学教授

(*) 印の専門委員は、H-IIロケットに関する調査審議については説明者として参加。

(**) 印の専門委員は、M-3Sロケットに関する調査審議については説明者として参加。